

科目分類	助産学実践科目 実習			開講時期	1年	後期
授業科目	助産学実習Ⅳ(地域における母子保健活動)					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	45時間	授業形態	実習
担当教員	野々山 未希子 ・ 窪田 裕子 ・ 田中 真穂					
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp(野々山) y-kubota@tsuruga-nu.ac.jp(窪田) m-tanaka@tsuruga-nu.ac.jp(田中)		オフィスアワー		事前にメール連絡してください	

授業目的	<ol style="list-style-type: none"> 1) 助産所における助産業務管理の実際を理解できる。 2) 助産所の活動内容について、地域におけるその機能と役割を理解できる。 3) 母子保健活動分野における助産師の役割および他職種との連携・調整について考察できる 4) 助産活動における倫理的課題・問題を認識し、考察できる。 5) 地域における助産・母子保健活動のあり方について考察できる。
授業概要	<p>開業助産所の活動内容と助産所管理、地域における助産・母子保健活動ネットワークなど、地域における助産・母子保健活動の実際を知り、地域における助産師の活動、助産業務を担う専門職の役割を理解・認識する。</p>
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間：7～12月の1週間 2. 実習方法： <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域の助産所における助産業務管理の実際を見学・参加する。 2) 助産所の活動の実際について、見学・参加する。 3) 健康センターにおける母子保健活動の実際を見学・参加し、一部実施する。 4) 地域で生活する母児に必要な保健指導(個別・集団)を実施する。 3. 実習施設(予定)： <p style="margin-left: 40px;">敦賀市健康センター「はびふる」 たきざわ助産院産前産後の家 他</p> <p>*詳細は実習要項参照</p>
教科書 参考書等	<p>助産管理Ⅰ・Ⅱ、地域母子保健論の教科書・参考図書に準じる。</p>

<p>成績評価 基準・方法</p>	<p>実習要項に記載する方法・基準</p>
<p>履修要件</p>	<p>全前期開講科目を修得していること。 全通年科目を履修していること。</p>
<p>留意事項 その他</p>	<p>助産管理Ⅰ・Ⅱ、地域母子保健論、乳幼児の発育発達とケアで学んだ知識の確認が必要となります。 健康管理に留意し、実習に臨んで下さい。 実習の姿勢として、主体的な学修を積み上げていけるよう行動できることを期待します。</p>